



# 主要な農作物の生育情報

平成30年度 第5号

(平成30年8月10日)

福島県農林水産部農業振興課

## 【作物】

### 1 水稲

農業総合センターの調査では、出穂期が平年より早まっています(表1)。登熟期間の気温が高く経過すると、成熟期も早まります。

また、コシヒカリの草丈が伸びていますので倒伏に注意が必要です。

病害虫は、斑点米カメムシ類、紋枯病の発生が多くなっています。

表1 水稲の生育ステージ

調査場所	品 種	移植期 月.日	幼穂形成始期 月.日	出穂期 月.日	成熟期 [月.日]
本 部	ひとめぼれ	5.15	7.12 (+1)	7.31 (-3)	[ 9.22]
	天のつぶ	5.15	7.12 (+1)	8. 2 (-3)	[ 9.24]
	コシヒカリ	5.15	7.15 (-5)	(8. 8)(-4)	[10. 2]
会津地域 研 究 所	ひとめぼれ	5.21	7. 9 (+1)	7.29 (-2)	[ 9.11]
	天のつぶ	5.21	7.11 ( 0)	7.30 (-3)	[ 9.15]
	コシヒカリ	5.21	7.14 (-1)	8. 2 (-4)	[ 9.19]
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5.10	7. 4 (-3)	7.28 (-4)	[ 9.14]
	天のつぶ	5.10	7. 6 (-1)	7.30 (-4)	[ 9.23]
	コシヒカリ	5.10	7.12 (-3)	8. 5 (-3)	[ 9.28]

※1 調査場所は農業総合センター本部(郡山市)、浜地域研究所(相馬市)、会津地域研究所(会津坂下町)。

※2 ( )内の数字は、前5ヶ年平均値との比較を示す。本部コシヒカリの出穂期は未確定値。

※3 成熟期の[ ]内は、前5カ年平均値を示す。

### 2 大豆

開花期が平年より早まっています(表2)。7月の高温・乾燥により、草丈が短く、節数や分枝数の少ないほ場がみられます。今後、高温、少雨が続くと落花、落莢が懸念されます。

表2 大豆の生育ステージ

調査場所	品 種	播種期 月.日	出芽期 月.日	5葉期 月.日	開花期 月.日	成熟期 [月.日]
本 部	タチナガハ	5.30 (-1)	6.12 (+1)	7. 6 ( 0)	7.23 (-3)	[ 10.17]
	あやこがね	5.30 (-1)	6.12 (+1)	7. 5 ( 0)	7.22 (-4)	[ 10.12]
	タチナガハ	6.19 ( 0)	6.26 ( 0)	7.19 (+1)	7.31 (-3)	[ 10.23]
会津地域 研 究 所	あやこがね	6. 1 (+1)	6.15 (+7)	7. 8 (+5)	7.25 (+1)	[ 10.14]
		6.20 (-1)	6.25 (-3)	7.16 (-4)	7.31 (-4)	[ 10.21]
浜 地 域 研 究 所	タチナガハ	6. 8 (-3)	6.17 (-3)	7. 9 (-5)	7.26 (-7)	[ 10.22]
		6.25 (+1)	7. 1 (+1)	7.18 (-5)	8. 5 (-3)	[ 10.31]

※ 調査場所、( )及び[ ]内の数字の内容は表1に同じ。

## 【野菜】

### 1 きゅうり

5月下旬定植の露地栽培の収穫は、平年並の6月中旬から始まりました。高温の影響により収穫が前進化しているものの、萎れや成長点の枯れ、曲がり等の不良果の発生も見られます。施設抑制栽培の定植は、平年並の7月下旬から順次行われており、高温の影響による活着や生育の不良がみられています。

病害虫は、アブラムシ類、アザミウマ類が発生しています。

### 2 トマト

4月定植の作型の生育は、定植直後から平年よりも高めの気温で推移したため、平年並の生育であるものの、7月の高温の影響により多くのほ場で落花がみられます。

病害虫は、コナジラミ類、アザミウマ類が発生しています。

### 3 ピーマン

5月定植の露地栽培は、平年並の7月上旬から出荷が始まりました。7月の高温・乾燥の影響により尻腐果の発生が多くみられます。

病害虫は、アブラムシ類、アザミウマ類が発生しています。

### 4 さやいんげん

5月中下旬定植の作型の生育は、7月の高温・乾燥の影響により、葉や成長点の焼け症状、落花が多くみられます。かん水ができない一部のほ場では、枯れあがりが見られています。

病害虫は、一部のほ場でアブラムシ類、ハダニ類が発生しています。

## 【果 樹】（8月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

### 1 も も

ももの暦日比較では、「ゆうぞら」は縦径118%、側径125%と平年より大きく、満開後日数による比較でも、平年より大きい状況です。

「あかつき」の収穫始めは7月23日で平年より10日早く、収穫盛りは7月25日で平年より11日早まりました。果実の大きさは229gと平年より小さく、糖度は15.1と平年より高くなりました。

### 2 な し

なしの暦日比較では、「幸水」は縦径119%、横径117%と平年より大きく、「豊水」は縦径112%、横径112%と平年より大きい状況です。満開後日数による比較では、「幸水」は平年並みで「豊水」は平年よりやや小さい状況です。

平均気温と降水量をもとにしたDVR予測プログラムによると、「幸水」の収穫盛期は平年より11日、昨年より10日早い8月20日と予想されています。

### 3 りんご

りんごの暦日比較では、「つがる」は縦径115%、横径114%で平年より大きく、「ふじ」は縦径103%、横径105%と平年よりやや大きい状況です。満開後日数による比較では、「つがる」は平年より大きく「ふじ」は平年並です。

## 【花 き】

### 1 キク類

8月咲きでは、小ギクを中心に最大で10日程度の開花の遅延がみられ、通常より蕾が固い状態での収穫を実施している産地が多くなっています。9月咲きでは草丈はやや低くなっていますが順調に生育しています。

病害虫では、オオタバコガやハダニ類、アザミウマ類の発生が多い状態となっています。

### 2 リンドウ

8月盆向けの早生品種では、開花の前進がみられ、収穫はほぼ終了しています。7～10日程度と大きく前進した産地もみられましたが、高冷地を中心に概ね需要期での出荷となっています。9月彼岸向けの中生品種については概ね順調に生育しています。

病害虫は、ハダニ類、アザミウマ類、黒星病の発生がみられます。

## 【飼料作物】

### 1 牧草

平坦部では7月上旬から、山間部では7月中から2番草の収穫作業が行われ、天候に恵まれたため、品質は良好となりました。現在、3番草の再生期から出穂期にあり、早いところでは8月中旬から収穫が行われる見込みです。

### 2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、降水量が少なく、草丈が短いところもありますが、順調に生育しています。なお、平年より生育が早まり、早生種では8月上旬から収穫が始まっています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、体調管理に十分留意し熱中症対策をしっかりと行い、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>

